

令和4年度第4回「金沢の未来を語る まちづくりミーティング」議事要旨

- ・日時：令和4年9月10日（土）18時30分～
- ・場所：玉川こども図書館 交流ホール
- ・対象：材木、味噌蔵、長町、松ヶ枝、長土堀、
芳齋、此花、瓢箪（校下、地区）

1 開会

【村山金沢市長】

こんばんは。今日は土曜日の夕方ということで、少し出づらい時間帯の開催となりましたにもかかわらず、皆さんにはお集まりいただきましてありがとうございます。

さて、今日はこの玉川こども図書館で開催をさせていただきます。この施設は今年の4月に完成したわけですがけれども、子ども向けの施設ということもあってなかなか皆様方立ち寄りづらいこともあるかと思えますけれども、この際にいろいろご覧いただければというように思います。

1階には、子どもたちが緊張しないでリラックスしながら本と親しめるようなスペースを用意しました。また、2階、3階と3階建てになっておりますけれども、それぞれの専門に合わせたような、あるいは子どもの学習過程、成長過程に合わせたような形で本を揃えさせていただいております。

また、後ほど少し触れますけれども、このように木を多く取り入れさせていただきました。天井部分であるとか壁などにも木を入れさせていただいて、特に子どもたちが木の文化都市を感じながら、その木のぬくもりを感じながら読書に親しむことができるような場所ということで開設をさせていただきました。

今日、多目的施設、この部屋で開催させていただきましたけれども、一般にも使うことができる施設であろうというように思いますので、ぜひまたご利用いただければというように思っております。

さて、まちづくりミーティングですがけれども、これまで2年間開催をせずに3年ぶりの開催ということになります。ですので、今年は私が市長となって初めての開催になります。3年間やっていなかったということもあって、大体3年に一度、地区を回っているというように思うんですけれども、今回は全ての地区に対して、全地区を9ブロックに分けて開

催をさせていただいております。

また、今回、就任後初めてのまちづくりミーティングということですので、これまで地域の要望の内容、質問などを受けて、それに対して回答をする場として開催させていただいたと思うんですけども、来年度中に新しい都市像をつくるという予定にしており、今後10年間を見据えた都市像をつくるということにしておりますので、その都市像の構築に向けた意見交換ができればというように思っております。

とはいいながら、今後10年間という形なので、それよりも直近の課題があるぞというご意見もあると思いますので、その場合は後ほどの意見交換の中でご質問をいただき、今日は4つの局から来ておりますけれども、その中では答えられない内容については後ほどお答えするという形にさせていただきたいというように思っております。

限られた時間になりますけれども、様々な意見交換できればというように思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

2 市長講和「親和力で奏でる金沢」

市長講和の内容については、レジユメを参考願います。

3 意見交換

【芳齋地区町会連合会】

村山市長、大変分かりやすいご説明いただきましてありがとうございます。

先ほど、ご説明の中で子育て支援の充実ということを上げていただきました。村山市長に替わられてから、なかなか金沢市で進まなかった放課後児童クラブの第2子の無償化にも取り組んでいただきましたし、今のご説明でも育児推進をしている企業に対する支援を行っていただけるということで、大変心強く思っております。

ぜひ子育て支援の一環として、今、金沢市内の放課後児童クラブなんですけれども、残念ながら金沢市内の14の施設で児童の入所年齢を制限するという対策を行っております。多分、これは希望する方たちを全部入れようとするとその施設に入れないということで、事前に対象年齢を制限しているということなんだろうというふうに思っております。

ぜひ、今後、この金沢市内の児童が希望すれば放課後児童クラブに入れるようにご尽力

をいただきたいというふうに思っておりますし、例えば加賀市などでは病児保育のときに「かもっ子」クラブという制度をつくっております、働くお母さんに対して安心してお仕事ができるような、そんな対応もしておりますので、ぜひ他都市のいろいろな子育て事例を取り入れていただいて、村山市長ならではの金沢市の子育て支援に一層つなげていただきたいと、こんなふうに思っております。

もう一つなんですけれども、これ地域事情で大変恐縮です。こちらの中央小学校大変立派に造っていただきまして、ありがとうございます。堀場課長にも日頃からお世話になっております。ありがとうございます。

そんな中で、今新しくできる中央地区の長町中学校ができるに当たり、多分、今小將町に通っていらっしゃる児童さんが武蔵ヶ辻等を通して学校に行かなければならないということで、やはり通学区域の安全に関して少しご心配をいらっしゃる保護者の方がいらっしゃるというお話を今日伺わせていただきました。あわせて、この小学校が変わったことで小学生の動線なんかも変わっておりまして、私の町会でも大変交通のトラブルがあるところがございます、先般、金沢市の土木の方にも来ていただき、警察の方にもご相談させていただいております。

今後、地域内で地域の事情が変わったことで交通安全に関して少し取組を行わなければいけないことがある場合、警察さんとも相談をさせていただきつつ、必要なソフト、もしくはハード事業に関してしっかりと金沢市として取り組んでいただけるようお願いをしたいというふうに思います。よろしくお願いたします。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。2点、前半のほうは、私の方針に関わる場所でもあります。

放課後児童クラブがみんな入れるような状況になればいいんですけれども、そこがどうしてもまだ追いついていない現状はあります。ただ、充実に向けてどんなことができるか相談をしてみたいというふうには思っております。

なるべく、共働き率と言っはいいのかわかりませんが、女性が働いている率が非常に高いというのは金沢のまた一つのいい特徴だということに思っておりますので、これが子育てのために断念しなければいけないようになることは何としても避けたいというふうに思います。ですので、子育て環境の充実に向けて引き続き取り組みたいというふうに思っております。

また、通学区域の安全の確保について、これはおっしゃるとおり心配されるところはあ
るというように思います。これからその対象となる子どもたちへの指導も含めて、あるい
はその環境の充実についても考えていきたいというように思っておりますが、追加であれ
ばよろしく申し上げます。

【坂本土木局長】

土木局長の坂本でございます。いつもありがとうございます。

まず学校の通学路につきましてですけど、定期的に通学路を合同点検ということで、地
元の皆さん、警察、道路管理者または学校といった形で合同で点検を行っている次第で
ございます。

昨今、新しい小学校になり、新しい中学校ができる。また、その辺の区域の説明は課長
が行いますけど、そういった場所でやはり盲点というか、危険な場所はたくさん出てくる
と思います。そういった箇所について、そういう点検を通じて課題を出し、早急にやらな
ければいけないものをやるといったふうに考えております。

先ほども市の道路部局にも一応見ていただいたということもありまして、私も聞いてお
りますんで、その辺、一生懸命、「子どもの安全安心」ということをテーマに取り組んで
まいりたいと思っております。

【堀場教育総務課長】

ご質問ありがとうございました。私のほうからもう1点、通学をするに当たっての安全
対策ということなんですが、現在、新しい中学校を開設するに当たりまして、各学校の校
長先生方だとか、地域の方々からいろんなお声をいただいているところでございます。そ
の中の一つに、やはり保護者から出てきた話としましては、通常、通学するときには制服を
着て、ネームをつけて、つけたままという制服が多いと思うんですが、そういった名前を
つけたまんま繁華街の中を歩くのはいかがなものか。子どもが特定されるのは嫌だなとい
うお声もいただいております。

一方、小將町中学校のほうは熱中症対策ということで、現在、体操服での通学をしてい
るところでございます。そうすると、背中にでかでかと学校の名前が入り、胸には刺しゅ
うで名前が入っているという、そういったもので通学をしているのもありますので、そ
ういったものについて何か対策をしてもらえないかなという声もいただいておりますので、

また学校長のほうとも相談しながら、個人が特定できないような工夫などもしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【味噌蔵地区町会連合会】

今日初めて村山市長にお会いしまして、お話ができてよかったなと思います。

私の住んでる地域は味噌蔵で、どちらかというところになると下町みたいな感じのところになります。今日のお話を聞いていると、金沢というところと芸術とか工芸とか、そういったキラキラしたイメージが先行するんですが、私たちの住んでる生活環境、町がどうかなっていうと、まだまだそういうところに至っていないというのを実感します。

特に私の住んでる町会では、ごみ捨て場、その確保が難しいんですよ。本当に人の敷地に頼っている。私の町会にも天理教のお寺さんがあって、そこならずと貸してくれてたんですが、まさかお寺がなくなって更地になるということは想定してなかったんですね。今、本当にそれが私たちの町会では深刻な問題でして、近隣の多分町会さんもそうだと思うんですよ。本当に隣の町へ行くと惣構の水路の上、そういったところにごみ捨て場を造っていて、私たちの町会もそこに造っちゃえばいいんじゃないかというような、本当にそれが文化かなと。

金沢市のほうにも何回か言ったんですが、地域で解決してくれと言われました。道路に少し置かせてくれないかと言っても、道路は公共で管理が金沢市はできないから駄目だと言われました。そういったところをもう少し地域と協定を、もちろんこれは町の責任でやるので、そういったところは協定を結ぶとか、責任区分をしっかりと町会のほうで担保する形で、もう少しこういった地域でやるには土地とか絡むと限界がありまして、なのでその辺はもう少し市のほうでごみ捨て場をしっかりと整備していただくとか、そういった小さい単位にもっと目を向けて、バリアフリーとか、そういったことにもつながると思うんですが、そういった小さい単位でのまちづくりというのが今後10年間の金沢市の将来につながっていくんじゃないかと、切に今日ちょっと思ったので、この機会を利用させていただきました。ぜひそういったことを考えてほしいなと思います。

【松田市民局長】

ご意見ありがとうございます。似たような話というのは、市民局にも入ってます。多分、環境のほうにも話は行ってるんじゃないかなと思います。ほかのところでもやっぱり同じ

ような話があって、金沢市内でも場所を変えて、一定期間たったら次の隣の場所とかっていう、そういう苦肉の策をやっているっていう話も聞かせていただいております。

区画整理をする場合はその土地をある程度確保してやるという形になっているんですけど、道路敷地などが狭いところは皆さんやっぱり苦労している。

その中で、町会が全部で1,300ぐらい、ごみ捨て場はもっとあると思うんですけど、同じ形でやることっていうのはやっぱり難しいので、ご意見を聞いて、ベストではなくてもベターなやり方っていうのを考えていかなきゃいけないかなど。つい先般も、やっぱり同じような話がありまして、答えは出なかったんですけど、もうちょっと時間をかけようという形で取り組ませていただいております。何かあればまたご意見言っていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

【松ヶ枝地区町会連合会】

先ほどから村山市長のお話を聞いておりまして、僕もいい機会に来れたなということで非常に喜んでおります。

私の孫も中央小学校に通っておりますので、そういった意味でこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。運動場が狭いのがちょっとかわいそうな気はするんですけど。

それで、話を伺っておりまして、大変恐縮なんですけれども、伝統文化を中心にこういう企画づくりというか、そういうものを持ってこななきゃいけないというのはそのとおりでと思うんです。現状把握をした中で、将来的な展望、強みを持って打ち出していくというのはそのとおりでと思うんですけど、その中で数字が1.47とか、あんまり数字にこだわるつもりはないんですが、10年後、この数字が幾つなんだろうかねっていう思いがありました。なぜそんなことを言うかっていうと、先ほど村山市長の説明についてはすごくそのとおりでと思うし、僕も本当にそうしかないんだろうというふうには思うんですけど、子どもがどういう教育を受けて、その上で中学校、高校、大学行って、社会に出るというときに、そういうすばらしいものをいっぱい持って育った中で、そのまま企業に入っていくと。もしくは役所等に入っていくと。そういったときに、果たして市長が言われたように、若者とかばか者とかいろいろありましたけど、ああいう話の中で、その若者が企業に入っていくときに企業は全てああいうふうを受け入れられるような土壌になっているのかどうかということが大事なんだと思うんです。

また、入ったところの仕事が、自分が好きな仕事、誇りを持てる仕事、みんながそうな

ら問題はないかもしれないですけど、そういう女性が結婚して子ども産む、そういった子どもを産むときの産業別というか、学歴別と言ったらいいですかね。何かそういう分析があってもいいような気がしたんです。

要は、伝統工芸、伝統文化、そういったものに幸いにして、携わっている方たちというのは、そのバックグラウンドとしてもそういう教育なり、仕事、当然生計を立てる上でもあまり心配がない。だから、子どもはそれなりに持てるかもしれない。でも、全てがそうかと思ったらそうじゃないかもしれないなと思うので、そういったことを考えたときに、そういうものに、もし差があるんだとすれば、そういうものに少し手を打つっていうことを何か考えておけないかなというふうに思いました。

私自身、恐縮ですけど、金沢市の現業のようなことを一時期ちょっとやったことがあるんですが、要は自分の仕事に誇りを持ってやっているっていうふうには残念ながら思えなかったことがあります。そういったところっていうのはCS、ESの世界じゃないですけど、やっぱり喜んで前向きに、改善に、積極的になって誇りを持ってやれるというような職場であってほしいなと思うんですけど、残念なことにそうではないケースもあるということもちょっとご理解いただきたいなというふうに思いました。すいません。大変失礼なことを申し上げましたけど、そういうふうに私は思いました。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

最初に、合計特殊出生率の目標値というのは、金沢市のほうでは1.80というところに持っています。これは各地域が、国のほうも目標値を同じように作られておるんですけども、子どもを産み育てたい人がその希望をかなえて産み育てられるとすればという中で、幾つで結婚をされてとかいうことも計算した上で1.80まで持っていけないかということを目標値としては持っています。その中で、各企業での就業環境等については、先ほどの男性の育児休業を取得する際の支援制度などを設けていて、大企業には当てはまらないんですけども、中小企業に対してはそういうことはできますよと。あるいは、様々な相談にも応じるという形にはしています。

一つ話の中で気になったところとして、今、伝統文化などを体験できる子ども塾なども行っていて、子どもさんたちが興味のある場合にそこに通わせるということをやっているところがあるんですけども、実はこれは興味を持つ親がいればそうなるんだろうと思っ

ていて、その親の意識の差をどう埋めていったらいいのかというのは悩んでいるところなんです。

今、小学校4年の全校生徒に対する21世紀美術館へのミュージアム・クルーズだったり、中学3年生の観能教室だったりあるんですけども、より多くの人たちが触れられるような仕組みができないかというのは今検討中です。

この伝統文化やそのほかの文化に対しても触れることができるかどうかで大きく変わってくると思うので、触れる環境にないような人がいないようにしていきたいというのが一つの目標です。

そして、仕事と生活の関係なんですけれども、これを一昔前はという言い方をするとあれかもしれませんけれども、東京に行ったら何でも楽しい仕事があるみたいなのところがあって、憧れて東京に就職するんだけど、そうすると東京の先ほどの合計特殊出生率でいくと1.3までいかないです。一番子育て環境に適していないのが都心部だというように思った中で、じゃ、自分の生活サイクルはどのようなものが幸せなのかと考えていただいて、これは仕事が大事なのか、生活が大事なのかということを考えるような、そんな教育がこれから必要なのかなと思っています。

もし、どんな家庭を築きたいということが優先なのだとなれば、金沢は共働きも多い、またあるいはおじいちゃん、おばあちゃんも近くに住んでいて預けやすいということもあったりもするので、なるべく金沢から離れない中での就職環境を探すという子もこれから増えてくるんじゃないかなというように思うので、その生活の豊かさを先まで見通した上で考えられるような、そんなことを教えられればなと思っています。

残念ながら、これはちょっと意識の男女差がまだあるところで、女性のほうはどういう家庭を築きたいかというところがあるんだけど、男性はなかなかそこに向かわずに手遅れになっていくというようなところがあるので、その男女共に意識が同じになるようにというように思っています。

その後の就職環境については、なるべく市内の中小企業のよさを引き出すような案内はして就職活動などもそこでまとめたりもしているので、そういった活動も広げていきたいなというように思っています。

ちょっと全ての対応はできるかというとなかなか難しいんですけども、答えられる範囲で答えさせていただきます。

【味噌蔵地区町会連合会】

市長の真向かいにおりまして、直接話しするのはちょっと申しわけないなと思うんですけども。

この写真の中のまちなかの再生に向けた「親和力」というところの次のページに、都市の発展基盤の整備というのがございます。その一番初めに、「新しい交通システムを検討・調査」というのを見まして、またそういうことをやるんかいなと。これ、過去何年か出てきては積んだり崩したりする問題なんですね。

これから人口が減っていくという中で、また新しい交通システムというのは要るんかいなと思うのは、それよりも人口は減少していくよと。そうすると、各企業といえますか、北陸鉄道さんがメインですけれども、バスを間引きしていく、取りやめる。そうしてくると、要するに周辺のところに住んでいるお年寄りの外へ出る機会がなくなる。なるべく免許証は返納しなさいと言われる。足は弱る。どうすりゃいいんだって。その人たちを考えなきゃならんだろうと思っています。

そのことを特に、私も町連の代表としてある県の会議に出てるんですけども、内灘線と鶴来線の非常に経営が厳しいよと。それによって、企業のほうから上下分離方式で助けてくれよという話が出るわけですね。ということは、線路から保線から施設から全部第三セクターかどこかに任せて、自分たちは運転だけだよって。それもあのかなと思うんですけども、そういうところもバス路線よりももっとも大きい話なんで、もうちょっと市民の方にまだはっきり決まってるわけないだろうけれども、PRとかイシューをしていただくということが非常に大事だと思うんです。これを公表されると大きな問題になってくると思いますので、いいか悪いか結果は分かるような気がするんですけども、地域運営交通の支援というのはこれを指しているんだと思うんですけども、もう少し真剣に話し合いせないかん。人が減っていく中でどうすればいいか。

都心の施設さんは、線路を直すことによって団地を造り、まちつくって、それで路線をにぎやかにされるんですけど、金沢はそれが難しいんですから、そういうことをひっくりめた討議の場を持っていただければと思っております。審議会だけではなくて。

それから、すいません、もう1つなんですけど、その前のページに金沢駅通り線に木を使って、木を植えてって書いてあるんですけども。というのは私、味噌蔵地区で田井町なんです。今、田井の交差点から兼六園下にかけて道路の拡張といえますか、無電柱化を始めてます。災害に強いまちということなんですけれども。それに沿って、並木をばっさ

り切ってるんですよ。どうやるかっていうと、道路幅で車線を広げて歩道を狭めると。ついでに木も切っちゃうと。何が緑の森の都金沢なんだと。

たまたまあそこは国道なんですね。でも、普通の人にこれが国道か県道か市道かというのは分らんわけですよ。まちは続いているわけですから。やっぱり鋳物を切って、それよりももう少し人が住みやすくなる楽しい木陰があるような町並みをつくっていけないかと。とにかく県と市がその辺りを、行政区画は違うけれども緑豊かなまちとしての意識の統一を何か図れんかなと思ったりしてるものですから。

すいません。そういうことで、私の思いですけれども、何かお言葉があればと思います。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

都市交通システムについて申し上げますと、現在まだ新しい交通システムについての検討会、これは昨年度からずっと続いてきております。その報告を早晩いただくということになりますので、ここについての私からどういう方針というのを申し上げるのは難しい。その報告を受けてどうするかというのをこの後に第3次金沢交通戦略というのを立てていくので、そこで踏まえていきたいというように思っておりますけれども。

もちろん、今の段階ではコロナ禍で公共のバスが非常に苦しい状況というところの中で、新しいものをどう踏み出すかというのは非常に厳しい議論だというのは分かっております。そして、石川線と浅野川線のこといただきました。上下分離方式でということの申入れあるいは要望も北陸鉄道さんからいただいているという中で、そちらへの対応がまず求められるのかなというのが私の印象であります。

もう一ついただいた金沢駅通り線の木のことについては土木局から説明します。

【坂本土木局長】

今ほどのご質問でございますけど、国の無電柱化の事業でなかったかなと思っております。その街路樹が高木であるとか低木であるとかまでは把握していませんけど、全くゼロになるということではないと思っておるんで、こういったご意見があったことは国のほうにも話しさせていただきたいと思っております。

【材木地区町会連合会】

先般も市民防災訓練、大変なご支援いただきまして、誠にありがとうございます。おかげさまで味噌蔵地区さんのほうとも、それから田上地区さんのほうと連携しながらの防災訓練をさせていただくことができました。誠にありがとうございました。

私から3点ほど少し質問といいますか、こちら地元でやっていることも含めての意見をさせていただければと思います。

1つは、村山市長の最初のほうの話の中にありました、これからはやはり都市間競争の時代ということが当然なってくるだろうなと思っております。そういう中で、話の中にもございましたけど、若い世代の方々に魅力のあるまちをつくっていかないといけないというふうに思っております。そういう中であっては、若い方たちがこのまちなかに集える、そういった施設というか、そういう場所といいますか、そういうものがやはり必要なんではないかなというふうに強く感じております。

金沢の都心を見ますと、意外と何にも使われてないような、人が全然集まってないような場所って意外と多くあります。それは金沢城の前であったりとか、それから本多の森、本多公園の辺りというところもそういう場所に該当するのではないかと考えています。

今後、県立図書館が跡地になっていくわけですけど、その後ろにある市の施設ですとか、社福の建物も移転されるというふうな話も聞いております。あそこの重要なポイントが空洞化になっていくわけですけど、そこの跡地をやはり県、市と連携した中でしっかりと施設づくりというのを展開していただかないとまちの魅力が欠けていってしまうんじゃないかというふうに強く危惧しているところであります。間違っても民間に払い下げてマンションが建ってしまうようなことになってはいけないというふうに強く感じておりますので、よろしく願いいたします。

それから、安全なまちづくりということで「親和力」のテーマの一番上にも掲げていただいておりますけれども、私どもの材木地区では歩けるまちづくり協定を随分前に締結させていただいております。その後、住民自体もそういった意識が薄れてきているということもあるので、ここ一、二年にはその辺の少し住民の意識向上というふうな取組も進めたいというふうに思っていますし、お隣の味噌蔵地区さんのほうとも連携して、またエリアの拡充みたいなことももしできたらいいなというふうなことで思っております。

その中でふらっとバス、大変私ども利用させていただいていて非常にありがたい存在なんですけれども、このふらっとバスが我々のその地区の中に入ってきたときに生活道路を走られる際に、意外にスピードが速いんですね。確かに30キロ制限の範疇では走っている

と思いますが、もっと遅く、もう20キロぐらいで走ってくださるぐらいにゆっくりと走ってもらいたいというふうに、以前にも担当課の方には一度お願いをしたことはございますけれども、やはり時刻を守らなきゃという思いが強いのだろうと思うんですが、30キロ近くでやはり走っていると。時には超えているという場合もありますので、やはり20キロぐらいで走ってもらうような取組をしていただけたらありがたいなというふうに思っております。

それから、最後もう1点なんですけれども、私ども材木地区におきましては、卯辰山、それから浅野川、そして木像の瓦ぶきの住宅地という本当に金沢らしいエリアということですが、一方で災害に対しては非常に脆弱なエリアであるということがございます、先般からの水害に対しても非常に危惧しながら、災害に対して防災力を高めていかなければならないということでいろいろな取組を今進めているところであります。

そういった中であって、材木の旧小学校の跡地等々非常に貴重なスペースであるというふうに地域としては思っております。そういったところも十分に加味しながらの防災力強化ということについて、地域としても取り組んでまいりますので、できましたら行政からのご支援も賜りたいというふうに思っております。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

県図書館あるいは社会福祉の施設について、まだ県の所有なのでそこはこれからの議論になっていくかなと思いますけれども、いただいた視点、若者が集えるというのは非常に大事だと思っておりますので、ぜひ検討の中に入れていきたいというように思っております。

【新保都市政策局長】

都市政策局の新保です。いつもありがとうございます。

ふらっとバスに関しまして、運営のほうにまた伝えます。

それから、歩けるまちづくり協定です。もう10年以上たったかと思うんですけれども、一方通行であったり、速度制限であったりということだと思いますので、また道路の狭い地区でありますので、どのようなことができるのかまた相談させていただければと思います。ありがとうございます。

【村山金沢市長】

学校の跡地についてはまた相談させていただきます。

【長町地区町会連合会】

新しい小学校、新しい中学校という中で、教育総務課のほうに大変お世話になりまして、本当にありがとうございます。今後、中学校のほうはまだなんですけど、ひとつまたよろしくお願ひしたいというふうに思います。

今日、足場を取っておったものですから大分できたのかなというふうに思っていますので、今後よろしくお願ひしたいと思います。

そのほかの点で2点ほどひとつよろしくお願ひしたいというふうに思います。

中央地区は特に高齢化率が高く、また道路が狭いんです。そういうことで、緊急自動車が入ってくることもなかなかできないということで、ぜひ無電柱化をお願ひしたいなというのが第1点です。

それから、長町としまして、日銀の跡地がございます。こちらにつきましては来年の春恐らく日銀が移転されるんじゃないかなというふうに思います。長町地区としても検討しながら、市長にまたお願ひせないかなというふうに思っているわけなんですけど、ぜひ金沢市として跡地を取得し、皆さんが集える場または集まってこられる場をつくっていただきたいなというふうに思っていますので、その辺ひとつよろしくお願ひいたしたいというふうに思います。

【村山金沢市長】

ではまず、日銀跡地のほうからですけども、金沢市にとっても非常に大事な場所だということに思っています。大事であるとともに、商業施設とビジネス街の結節点とも言えるけれども、それは両方とも端っこなんですね。ですので、その使い方というのは非常に難しいと思っています。

ただ、ご心配かけることがないよう、市としても関与していきたいというふうに思っておりますので、今後ともご相談させていただきたいというふうに思っています。

【坂本土木局長】

無電柱化のご意見でございます。金沢市では、平成21年度から金沢方式無電柱化方式という計画を策定いたしまして、43路線の14.8キロ、15キロの計画をもって今事業をやっているところでございます。

ただ、長町地区も今まで武家屋敷の跡とか、用水の跡とか、そういった箇所を整備をさせてもらっていますし、今後も一部路線に入っているところもでございます。ご理解いただきたいのは、現在進捗率としましてまだ15%ちょっとなんです。そういった箇所がまだ残っているものですから、引き続きまずその計画をしっかりと取り組んでいかせてもらいまして、またその後、新たなというような格好にしたいと思います。

ただ、取組としましては、他都市といいましょうか、国、県がやっている無電柱化と違っていて、金沢の場合はやはり狭いところ、景観を重視した、そういったところを路線として入れておるものですから、時間と費用が膨大にかかっております。昨年度ですか、今年の3月に改めて電線管理者さんと協定を組まさせてもらいまして、推進していきましようという形で取組も行っておりますので、一日も早くパーセンテージ上げられるように取り組んでいきたいと考えております。

【此花地区町会連合会】

長町の日銀の跡地もありますけれども、此花には都ホテルの跡地があります。10年後にあそこが空き地でないことだけをお願いをしておきたいなと思っています。

【材木地区町会連合会】

私のほうからは、2点ほどだけお願いというか、ちょっとご意見をさせていただきたいというふうに思っております。

材木地区は、ご存じのとおり、森山地区とも馬場地区とも重なっておりますが、卯辰山があります。私、朝に犬を連れたりとか、また小さい子どもがいたときには子どもを連れたりとかって非常にいい環境なんですけど、公園指定がかかっているのもうあそこには新しい住宅が建てられない。それで、どんどん夜の人口が減っている。非常にきれいな夜景もあるんですけども、ある程度の時間になるとやっぱりちょっと怖くて近づけないと。要は、山の一带が真っ暗になっちゃうわけですね。

そういうふうな本当にきれいな山でいいところだなと私自身は大好きな山なんですけれども、いろんなそういうことを、例えば10年後の取組なんかで若い人たちの意見も含め

ながら、新しい卯辰山の活用というのを何か行政のほうで考えていただけたらうれしいなというふうに思っております。体力をつけるために一生懸命歩いてらっしゃるおじいちゃん、おばあちゃんもいらっしゃいますし、いろんな側面から若い人たちの意見を入れていただきたいなということがまず1点です。

もう1点は、私、もう10年以上になりますけれども、「浅の川・鯉流し」というのを5月の連休にやっておりました。そこの実行委員長を務めておったんですけれども。そのときに、夜に竹灯籠を浅野川の橋場町側、東山のほうと橋場町のちょうど梅の橋のほうから鯉を流していたんですが、その対岸に、あそこは非常に暗くて300個ほど竹灯籠を置いたんですけれども、非常にきれいだということで、そのときに本当に観光客の方は物すごく多く来ていただきました。

私、単身赴任で埼玉とか東京にもいたんですけれども、いろんなイベントがあって、でも金沢にクラシックで落ち着いたイベントとか伝統芸能のイベントってやっぱりなかなか東京とかにはないので、本当にそれもこっちに帰ってきていいなって思う部分があるんですけれども。

金沢ってやっぱり東京や都会に比べてすごい暗いというか、ほの暗い。そこにやっぱりほの暗い明かりが灯るイベントって何かすごく心を打たれるというか、そういう部分があるものですから、夜をメインにしたイベントっていうものも考えていただくと、新幹線で日帰りする観光客の方も夜そこに泊まってまた金沢のよさを発見していただけるんじゃないかなというふうに思いますので、そういったところも含めて、またご検討いただきたいなというふうに思います。

【村山金沢市長】

ありがとうございます。

ただいただいた都ホテルのほう、10年後は絶対に。近鉄不動産の土地ですので何ともそこは難しいんですけれども、ただ、私のほうからも地元の気持ちを伝えるということをはしていきますし、向こうの会社の状況次第なのかなというようには思いますけれども。コロナ禍ですすがに厳しかったところはあると思いますけれども、これもいつまでも続くものじゃないというふうに思っていますので、また働きかけたいというふうに思っております。

卯辰山のほうについての新しい活用という視点、確かに大事だというふうに思っていま

す。私も好きなところなので大事にしていきたいなというように思います。

また、浅野川の鯉流しのほう、いろいろと私もちょっと見させていただきました。いいイベントだなと思いますし、金沢の夜景は大事にしていきたいと思って、今回も実は9月の補正予算の中に、あれは来年のいしかわ百万石国民文化祭に向けての修景の整理というものもあるんですけども、まちなかのライトアップなどもしていこうかなというふうに思っています。せっかくある美術品というか彫刻などがそのままになっていると。これがもう風景としてなじんできているので、これを一回クローズアップさせることによってまた価値が高まるかなというようにも思っています。そのほか、夜景についても担当部局等のほうにも話をしながら進めていきたいというふうに思っています。

4 市長まとめ

【村山金沢市長】

今日は長時間にわたりましてご議論いただきましてありがとうございました。

後ほど案内あると思いますけれども、今日言い切れなかったところ、まだ物足りないというところがあると思います。アンケートなどに書いていただいて、しっかりと我々のほうでも検討させていただきたいというように思っております。

何しろ私地元ですので、これからもよろしく願い申し上げます。